

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十六年十一月度 入選句（投稿総数二千八百四十八句・小中学投句数二千五百十句）

### 特選

選者 和田勝子

トゲトゲのよろいを着てるくり兵士 大垣市 堀家 菜々子(小四)

とつてもよく栗を観ていますね。すくくどげのあるいがのことを「よろい」とうまく表現されたところがすばらしいですね。

栗林が栗を育てていらつしやるお庭での発見でしょうね。たくさんの栗を「兵士」と擬人化に表現されたところもすてきですね。よく観察され、とつてもすてきに表現された句ですね。

いい香り湯気が立ってる新米だ 大垣市 金森 早紀(小五)

毎日食してる御飯であるけれども今日お茶わんに盛られた御飯はちよつとちがうと感じたのでしょうね。とつても感性豊かな作者ですね。「いい香り」「湯気が立ってる」という言葉から感じられます。

農家の方達の田植から水の管理、日照りの必要さ、取り入れ、収穫の大変さは間接的には理解していてもいざ食してみるとすくく心にしたのでしようね。すばらしい句ですね。

朝起きて庭へ目をやる寒椿 大垣市 杉江 尊至(小六)

よい発見をされましたね。季節に合わせ、たくさんのお花を栽培されてるお家なのでしょうね。一日の始まりにお庭を見渡す習慣があるのですね。その中に寒椿を発見されたのですね。その花の美しさに気づき詠まれたのでしょうかね。作者は、自然と親しむ目や心を養っていらつしやるのですね。「ほつ」として一句を作られる感性豊かな心の持ち主ですね。すてきな句ですね。

### 秀逸

くりごはんくりが山もりこぼれそう 大垣市 川瀬 朱莉(小四)

空を見てどんどん広がるいわし雲 大垣市 山本 達也(小五)

風にのり落ち葉が横に走ってく 大垣市 瀬名波 心理(小六)

つきみするおだんごいっしよにかぞくもね 大垣市 松井 未来(小二)

どんぐりがこまにへんしんくるくるる 大垣市 まぶち しんや(小二)

紅葉狩り彩りつづく山々に 大垣市 井上 万優菜(小六)

どんぐりでままにつくったくびかざり 大垣市 ながさわ まみ(小二)

きたかぜがはっぱをとばすおおそうじ 大垣市 いとう しょうき(小三)

くものすでブランコしてる落ち葉たち 大垣市 早川 莉里(小四)

泳いでるいわし雲の大群が 大垣市 三輪 彩乃(小五)

入選

はじめてだ秋の月食赤い月 大垣市 伊藤 厚希(小六)  
 兄と見るかいき月食秋の空 大垣市 高田 滉平(小六)  
 あかとんぼおはなのみつをすいにきた 大垣市 えぐち はるひこ(小一)  
 先生にくつつきむしがついている 大垣市 廣 瀬 巧(小三)  
 友達と帰り道に見るいわしぐも 大垣市 中 川 彩(小六)  
 家の横かおりただよう金木せい 大垣市 杉原 妃羅良(小六)  
 秋の山赤黄緑おしゃれずき 大垣市 後藤 幸太郎(小三)  
 さくさくといちようのはっぱさんぽ道 大垣市 清 水 咲 希(小三)  
 ホコホコのゆげまでうまいくりごはん 大垣市 せきや いぶき(小三)  
 こうようがわたしをみてよと影つくる 大垣市 川 瀬 英理香(小五)

入選

くりひろいとげとげのふくみいつけた 大垣市 若 杉 茉 桜(小四)  
 ドングリはおしやれなぼうしかぶつてる 大垣市 廣 瀬 香 音(小四)  
 どんぐりがびよんぴよんとんで回ったよ 大垣市 川 端 和 哉(小二)  
 いわし雲青い空を泳いでる 大垣市 瀬 名 波 公 理(小四)  
 まっさおな空を見上げて秋日和 大垣市 安 藤 怜 佳(小六)  
 タご飯においただよ焼き秋刀魚 大垣市 堀 口 立 起(小六)  
 秋の風体にしみるつめたいな 大垣市 いとう あさみ(小四)  
 十三夜夜道をてらす道しるべ 大垣市 佐 藤 大 和(小三)  
 数よりもえがおいっぱいりんごがり 大垣市 小 林 奈 央(小三)  
 秋時雨空見上げればにじの橋 大垣市 加 藤 悠 花(小三)

選者吟

入相の老舗の庭の石露明り

勝 子